

VIII 研究会等

1. SAGA-LS サマースクール 2008

2008年8月27日から29日にかけて、SAGA-LS サマースクール 2008 を本センターにおいて開催した。本スクールは、若手研究者を対象として開催するもので、大学や企業の研究者 14 人が参加した。

カリキュラムとして、座学のほか、研究センター研究員の指導による実際に放射光を使った XAFS 実験や、取得されたデータの解析などを行い、参加者の放射光利用に必要な基礎知識と実践的な応用力の習得機会を提供することができた。



2. SAGA-LS 講演会及び見学会

研究センターの施設増設が完了した 2008 年 9 月 8 日に、SAGA-LS 講演会及び見学会—実験施設増設を記念して—を研究センターにおいて開催した。

63 人の参加があり、研究センターの概要説明や、招待講演で、これまで研究センターを利用した大学、公設試験場、企業の各事業におけるシンクロトロン放射光の係わりと今後の展開等の紹介などを行った。

また、センター施設の見学も行われた。



3. SPring-8/SAGA-LS コラボレーション放射光産業利用セミナー

2008 年 11 月 7 日に、財団法人高輝度光科学研究センターとの共催により、SPring-8/SAGA-LS コラボレーション放射光産業利用セミナーをサンメッセ鳥栖において開催した。

100 人の参加があり、研究センターの概要説明や、産学官の利用者の産業利用へ結びついた事例発表等が行われ、放射光施設の利用経験とそれに基づく効果的な利用方法についての活発な議論がなされた。

また、利用相談会やセンターの見学も行われた。



4. SAGA-LS ナノテクセミナー

2007 年度から 5 年間の予定で「文部科学省先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジーネットワークプログラム」を受託し、産学官の推進に資するためにシンクロトロン放射光を用いたナノ計測・分析支援を行っている。その一環として 2008 年 12 月 19 日に「ナノテクノロジーと in-situ XAFS 測定」と題して、本セミナーを研究センターで開催した。ナノテクノロジー研究と応用展開に携わられている 4 人の研究者の方々から発表をいただき、参加された 18 人の研究者・技術者との間で、活発な議論が行われた。

5. 九州大学超高压電子顕微鏡室・九州シンクロtron光研究センター合同シンポジウム

研究センターが「九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワーク」事業の一環として、九州大学超高压電子顕微鏡室と共催で、2009年3月9日に九州大学において、「超高压電子顕微鏡／シンクロtron放射光が拓くナノワールド」と題して、合同シンポジウムを開催した。

九州大学超高压電子顕微鏡室松村室長の挨拶に引き続き、2件の基調講演の後、大学、公設試験研究機関、企業の研究者の方からの特別講演及び指定講演が12件、ポスター発表も29件行われた。

シンポジウムには、約90人の参加があり、研究成果の発表についての討論を通じて、ナノレベルでの超高压電子顕微鏡やシンクロtron放射光の活用に関する知見を深めることができた。



6. 平成20年度地域戦略利用意見交換会

研究センターは佐賀県から受託している「放射線利用・原子力基盤技術試験研究推進事業」として、佐賀県内の試験研究機関によるシンクロtron光を用いた試験研究の支援事業を「地域戦略利用」として実施している。

これまでの地域戦略利用の研究成果を開示し、意見交換を行うことにより、シンクロtron光を活用した地域課題解決の可能性を検証するため、2009年3月27日に研究センターにおいて、関係者による「平成20年度地域戦略利用意見交換会」を開催した。約20人の参加があった。

7. テーマ別研究会

利用推進協議会のテーマ別研究会において、それぞれの自主的な活動として、様々なセミナー等が企画、実施された。その概要は、表1のとおりである。

なお、こうした研究会活動に係る経費については、当センターが目指す企業ユーザー拡大に資するものとして、財政支援を行っている。

表1 テーマ別研究会の活動状況

研究会名	開催時期	内 容
新素材開発	2008.9.12	産学官連携による地域拠点形成のためのテーマ探索
表面・界面ダイナミクス	2009.3.13	溶液、ソフトマター、触媒などのシンクロtron光利用・応用研究
分析・解析技術開発	2009.3.23	生体関連物質の各種スペクトル解析研究

8. その他

研究センターも分担機関と位置づけられている、九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワークの主催事業など、九州地区の大学、経済団体、他の放射光施設等とのジョイントによるシンポジウム等において、技術講演や事業紹介などを行った。

(1) 文部科学省ナノテクノロジー・ネットワーク放射光利用研究成果報告会

時期：2008.5.7

主催：独立行政法人日本原子力研究開発機構他
場所：メルパルク大阪（大阪市）

(2) コロイド及び界面化学討論会

時期：2008.9.7-8

主催：社団法人日本化学会コロイド及び界面化学部会

場所：九州大学六本松キャンパス（福岡市）

(3) 第22回日本放射光学会年会

時期：2009.1.9-12

主催：日本放射光学会

場所：東京大学（東京都）